

2018年12月26日

四国電力株式会社

取締役社長 佐伯 勇人 様

伊方原発をとめる会
事務局次長代行 松浦秀人
松山市三番町5-2-3ハヤビル
TEL089-948-9990

定検期間延長などの暴挙をやめ、 伊方3号機の停止・廃炉を急ぐよう求める申し入れ

12月18日付新聞報道によれば、原子力規制委員会との懇談の場において、貴社原子力本部長らが「運転サイクルの延長にもトライしたい」と述べ、改めて定期検査間隔の延長を目指す考えを明らかにしたと報じられている。これは、運転効率や収益性に重きをおいて、県民のいのちと暮らしを一段と危険にさらす暴挙である。

また、12月11日の原子力規制庁において、乾式貯蔵施設設置に関して審査中にもかかわらず、同施設の使用を前提とした計画にしていることについて規制庁側からその理由を問われたことも報道されている。乾式貯蔵施設建設の是非の結論も出ていないのに当然の如く廃炉計画に組み込んでいる点も、あまりにも増長した姿勢と言わねばならない。

については以下の点を申し入れる。

記

- (1) 住民をいっそう危険にさらす定期点検期間延長は断じて行わないこと。
- (2) 伊方1, 2号機の廃炉について乾式貯蔵施設建設を前提としない計画に改めること。
- (3) 伊方原発3号機を停止し廃炉に向かわせること。

以上